

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	品質管理セミナー 品質管理実践コース(3日間)
主催者(団体)	一般財団法人日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	日本規格協会ホームページでご確認ください。
総時間	19 時間(計 3 日間)
開催場所	日本規格協会ホームページでご確認ください。
対象者	1)生産(製造)部門、品質管理・保証部門、生産技術部門の方 2)QC 検定 3 級以上の知識を有している方、また当協会の「QC 入門コース」及び「通信講座 QC 入門コース」を受講した方 3) 2)の方で、学んだ手法の活用のポイントを知りたい方 4)品質保証の考え方から恒久的な品質保証体制の作り方を知りたい方
定員	日本規格協会ホームページでご確認ください。
題目	
プログラム(次第)	《第 1 日目》 1章:品質管理・品質保証の基本 2章:ステップ別品質保証活動 3章:改善 《第 2 日目》 4章:データの取り方とまとめ方の基礎 5章:QC 七つ道具 6章:新 QC 七つ道具 《第 3 日目》 実技演習・発表(グループ演習) ※簡易的な実験により、データを実際に採取し、ばらつきを体感する。 品質特性に影響を与える因子を洗い出し、原因の究明、対策を立案する。 改善の前後で分布の変化(平均値・標準偏差・工程能力指数を)を考察し、QC 工程表及び作業標準書を改訂する。
内容	こんなお悩みございませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 自社に適した品質保証体制を構築したいが、品質保証の考え方の理解が足りない <input checked="" type="checkbox"/> QC 手法を学んできたが、どのように活用するのか分からない <input checked="" type="checkbox"/> 適した品質保証を確立するために問題を解決する実践(改善)力アップを図りたい 本セミナーは、2019 年度まで 4 日間で開催しておりましたが、外部や社内教育等で品質管理手法を学ばれた方や、品質管理、品質保証、製造部門などの方で上記のような悩みを抱えられた方々を対象に、実際の場で実践力を高めていただくコースとして 2020 年度よりカリキュラムをリニューアルいたしました。
プログラムの目標	①品質保証と品質管理の基礎を理解し、顧客価値創造と日々の方針日常管理の連動性・重要性について理解する

	<p>②品質保証体系図を元に、市場分析、製品企画段階、製品設計、プロセス設計、生産準備(工程設計)、生産段階(初期流動管理)と、ステップ別品質保証の考え方について、事例を交えて解説していく</p> <p>③生産準備の量産段階において、QC工程表や作業標準作成時の管理要素となる品質特性の考え方、ばらつきの概念、改善の視点について、実技演習を交えて基本的な統計的手法を活用した実践力を取得する</p>
CPD点数	60点
料金(税込)	<p>一般: ¥72,600 維持会員: ¥66,000</p> <p>※参加費は、テキスト・資料代を含んだ金額です。</p>
備考(問い合わせ先)	<p>日本規格協会グループ 研修ユニット</p> <p>TEL: 03-4231-8570 FAX: 03-4231-8675</p>
詳細URL	https://webdesk.jsa.or.jp/seminar/W12M1010/index/001/005/025